

創世記 48章- 49章 28 節 最後の祝福

今日は創世記を48章、ヤコブの物語、ヨセフの物語と創世記の書自体の結末の始めの部分、から再開します。私たちは創世記の書の学びをあと2週間で完結し、五月の第五日曜日に、創世記の書全体の主要テーマについてまとめの説教で記憶を蘇らせましょう。創世記でアブラハムの家族の死を迎える毎に祝福の概念が非常に重要であることを見ます。そして、それがこの書の主要なテーマであることを私たちは知っています。神の民の祝福は神がどのように彼の被造物とふれあうか、そしてアブラハムの家族を通して約束された人類の救いが神の摂理によって与えられるかを示します。ここ創世記 48章から 49章 28節まで、ヤコブによって家族の祝福が次の世代のイスラエルの息子たちに受け継がされる歴史を見ます。これらの祝福の記述には多くの詳細が与えられています。ですから、それらはあえて神が私たちに強調されていることを示します。私たちがこれらの連続する祝福を研究した後に、私たちが見出だすのは、私たちは服従によってのみ神の祝福を経験することができるという変わらぬ真理です。祈り、そして彼らヤコブの息子たちの祝福を見て行きましょう。 *Let's pray*

まず創世記 48章 1節から読み始めましょう。

創世記 48章 1~5節 1.これらのことの後、ヨセフに「お父上が、御病気で」と告げる者があったので、彼は二人の息子、マナセとエフライムを連れて行った。2.ヤコブに「息子さんのヨセフが、今お見えになりました」との知らせがあった。それで、イスラエルは力を振り絞って床の上に座った。3.ヤコブはヨセフに言った。「全能の神はカナンの地ルズで私に現れ、私を祝福して、4.仰せられた。『見よ、わたしはあなたに多くの子を与える。あなたを増やし、あなたを多くの民の群れとし、この地をあなたの後の子孫に永遠の所有地として与える。』5.私がエジプトのおまえのところにやって来る前に、エジプトの地でおまえに生まれた、おまえの二人の子は、今、私の子とする。エフライムとマナセは、ルベンやシメオンと同じように私の子となる。

ヤコブは死を目前にしていました。これからの2章に渡って繰り広げられるのは、彼の子供たちが次々と彼の前に現れて、それぞれが最後の祝福を受ける様子です。最初に祝福を受けたのはヨセフの二人の息子たちエフライムとマナセです。要するに、ヤコブはヨセフの二人の息子をヤコブ自身の息子として見做し、彼らは息子たちとしての祝福を受けます。これで、預言的にイスラエルの全部族のお膳立てが整います。エフライムとマナセに加えて他の兄弟たち、ルベン、シメオン、ユダ、ゼブルン、イサカル、ダン、ガド、アシェル、ナフタリ、とベニヤミンがイスラエルの部族を構成します。ヨセフがマナセとエフライムの二つの支族に表されているので、イスラエルには13の部族があります。

ヤコブは彼の息子たちへの祝福を彼が神から戴いた契約の祝福を基にしていることに注目してください。これは、ヤコブが彼の息子たちに受け継がせている全ての真の祝福の源を彼が知っていることを表しています。しかし、これらの祝福のもう一つの側面を私たちに指し示しています。それらは本質的に預言的です。そして、ヤコブはこれら預言的な祝福が神の摂理ゆえに実現することを理解しているようでした。13節に進むと、ヤコブがヨセフの息子たちに伝えている最初の二つの預言的祝福を見ます。しかし、すぐに神の祝福の予期せぬ特質を見ます。 **創世記 48章 13~16節** 13.それからヨセフは二人を、右手でエフライムをイスラエルの左手側に、左手でマナセをイスラエルの右手側に引き寄せた。そして二人を彼に近寄せた。14.ところがイスラエルは、右手を伸ばして弟であるエフライムの頭に置き、左手をマナセの頭に置いた。マナセが長子なのに、彼は手を交差させたのである。15.彼はヨセフを祝福して言った。「私の先祖アブラハムとイサクが、その御前に歩んだ神よ。今日のこの日まで、ずっと私の羊飼いであられた神よ。16.すべてのわざわざいから私を贖われた御使いが、この子どもたちを祝福してくださいように。私の名が先祖アブラハムとイサクの名とともに、彼らのうちに受け継がれますように。また、彼らが地のただ中で豊かに増えますように。」

ヤコブがどのように二つの事をこの最初の祝福に構成するか注目してください。マナセとエフライムを祝福することによって、ヤコブは彼らの父ヨセフを祝福しているのです。ですから、15節は、**彼はヨセフを祝福して**と言っています。しかし、16節では、**この子どもたちを祝福して**と

あります。次に、右手はより大きな祝福をもたらすと考えられており、長子に置かれるべきですが、そうではありませんでした。第二子のエフライムの上の置かれました。そして、17節に続きます。17.ヨセフは、父が右手をエフライムの頭に置いたのを見て、それは間違っていると思い、父の手を取って、それをエフライムの頭からマナセの頭へ移そうとした。18.ヨセフは父に言った。「父上、そうではありません。こちらが長子なので、右の手を、こちらの頭に置いてください。」19.しかし、父は拒んで言った。「分かっている。わが子よ。私には分かっている。彼もまた、一つの民となり、また大いなる者となるであろう。しかし、弟は彼よりも大きくなり、その子孫は国々に満ちるほどになるであろう。」20.彼はその日、彼らを祝福して言った。「おまえたちによって、イスラエルは祝福のことばを述べる。『神がおまえをエフライムやマナセのようになさるように』と。」こうして彼はエフライムをマナセの先にした。

ヤコブの最後の言葉のほとんどは、彼が常に特別な思いを寄せていたヨセフに対して語られています。彼の他の兄弟たちが会話に入ってくる前に、ヤコブはヨセフの子孫に最後の贈与を与える事を望みました。21節に続きます。21.イスラエルはヨセフに言った。「私は間もなく死ぬだろう。しかし、神はおまえたちとともにおられ、おまえたちを先祖の地に帰してください。22.私は、兄弟たちではなくおまえに、私が剣と弓でアモリ人の手から取った、あのシェケムを与えよう。」

21-22 節は、ヤコブの異なったイメージを示しています。彼は決して武力を行使して彼の家族を場所から場所へ移動させるような人と映ることはありませんでした。しかし、今、彼が平和を求める人でしたが、闘う人となることもできることが分かりました。先週、見たように、彼は彼の家族がエジプトに留まることはない信頼していました。そして、彼はヨセフの家族に特別な土地を与えます。この時点で、創世記 49章は始まります。ヤコブの残りの息子たちが、彼の前に呼ばれます。3節の始めから、彼らの父からの彼らのための祝福と子によっては呪いについて読みます。創世記 49章 3~22節 3.ルベンよ、おまえはわが長子。わが力、わが活力の初穂。威厳と力強さでまさる者。4.だが、おまえは水のように奔放で、おまえはほかの者にまさることはない。おまえは父の床に上り、そのとき、それを汚した。——彼は私の寝床に上ったのだ。

ヤコブは率直で核心を突いています。あなたは長子の権利を失った。あなたは秀でていた、最高の品位と力を持っていたが、あなたはもうその最高位にはいない。その優位性を失った。創世記 35章 22節で読んだその悲しい事実を覚えていますか。創世記 35章 22節 イスラエルがその地にとどまっていたころ、ルベンが父の側女ビルハのところに行って、彼女と寝た。イスラエルはこのことを聞いた。ヤコブの子は十二人であった。

続く二人の息子たちも祝福ではないものを受け取ります。5節からを見てください。5.シメオンとレビとは兄弟、彼らの剣は暴虐の武器。6.わがたましいよ、彼らの密議に加わるな。わが栄光よ、彼らの集いに連なるな。彼らは怒りに任せて人を殺し、思いのままに牛の足の筋を切った。7.のろわれよ、彼らの激しい怒り、彼らの凄まじい憤りは。私はヤコブの中で彼らを引き裂き、イスラエルの中に散らそう。

シメオンとレビは創世記 34章でシケムの街で殺戮を行ったので一緒にされています。彼らを分けるこの預言はエジプトからの脱出、そして約束の地の征服の後、レビ族が祭司職の責任を与えられたことによって彼らは土地の割り当て受けない事実によって成就されます。シメオンに関しては、その部族が約束の地の征服以降、基本的に消失します。彼らは取得すべき土地を獲得することができず、おそらく、その土地の民または他のイスラエルの部族に飲み込まれてしまったのでしょう。

これら3人の兄弟と将来のイスラエルの部族にあらかじめ対処し、これらの兄たちを除外することによって、ユダが兄弟の長子の位置に挙げられ、長子の権利を受けます。次の 8節でそれを見ます。8.ユダよ、兄弟たちはおまえをたたえる。おまえの手は敵の首の上にあり、おまえの父の子らはおまえを伏し拝む。9.ユダは獅子の子。わが子よ、おまえは獲物によって成長する。雄獅子のように、雌獅子のように、うずくまり、身を伏せる。だれがこれを起こせるだろうか。10.王権はユダを離れず、王笏はその足の間を離れない。ついには彼がシロに来て、諸国の

民は彼に従う。11.彼は自分のろばをぶどうの木に、雌ろばの子を良いぶどうの木につなぐ。彼は自分の衣をぶどう酒で、衣服をぶどうの汁で洗う。12.目はぶどう酒よりも色濃く、歯は乳よりも白い。

彼の前で息子らが伏し拝むことに言及することはヨセフの夢を思い起こさせました。ヨセフの一代で約束されて成就された祝福は今長期にユダに引き継がれました。イスラエルの王国はユダの系列によって統治される事になります。それ以上に重要なのは真の王の中の全てを上回る王がそのユダの支族から来られる事です。気づいていただきたいのはただイスラエルの民が彼に従うのではなく、あらゆる民が彼に従うのです。ユダの血筋の究極の王の支配は一つの国や民にとどまらず、全世界に及びます。ぶどう酒は繁栄と祝福の象徴です。王の下での繁栄があまりにも大きく豊かであり、たとえ最高の葡萄酒を産生する葡萄の木をつるでさえ、ロバを繋ぐためだけに使われます。今は貴重なぶどう酒として大切にされている物も、来るべき全世界的な王、私たちがイエスとして知るお方、の下では衣服を選択するための水のようにありきたりとなります。このユダに関しての予言は私たちが忘れがちな素晴らしい真理を指し示してくれています。私たちが仕えている王国は今私たちが住んでいるこの世の場所ではないという事です。ユダはイスラエルの地上での王国にその家系の王を輩出します。これが10節の一部分が示唆している事です。しかし、実際は現在ユダの系列のイスラエルを統治する人間の王は存在しません。ですから、この預言は霊的な王、イエス・キリストに言及しているのでしょう。主は天の国で統治されています。イエスはヨハネの福音書 18章 36節で、彼がより大いなる御国の王であると明らかにされています。

ヨハネの福音書 18章36節 イエスは答えられた。「わたしの国はこの世のものではありません。もしこの世のものであったら、わたしのしもべたちが、わたしをユダヤ人に渡さないように戦ったでしょう。しかし、事実、わたしの国はこの世のものではありません。」

この御国にはキリストが戻られる時まで、成就されない未来の局面があります。それを最高のぶどう酒がこれほど豊かに存在すると言う言葉に見ることができます。しかし、イエスは御国は未来だけではなく、いま此処にもあると言うその真理と神秘をも指し示しています。ルカの福音書 17章20~21節 20.パリサイ人たちが、神の国はいつ来るのかと尋ねたとき、イエスは彼らに答えられた。「神の国は、目に見える形で来るものではありません。21.『見よ、ここだ』とか、『あそこだ』とか言えるようなものではありません。見なさい。神の国はあなたがたのただ中にあるのです。」

神の民として、私たちは現在、実際、神の霊的王国の一部としてこの地上に住んでいます。しかし、多くの場合、私たちはこの世の王国や国々での繁栄や祝福のために没頭しており、私たちが真に属している霊的御国を見失いがちです。私たちの日々の生活は霊的王国に属しながらも、この物理的な世で生きる緊張を反映しているのでしょうか。それとも、私たちは完全にこの世が私たちに強いる世の価値観、動機、目標、方法を受け入れ有しているのでしょうか。神の御国の市民として生きるには、私たちはことあるごとにこの世は私たちの真の我が家ではなく、私たちの救い主キリストとの未来が真の現実であることを思い出さなければいけません。

他の誰もユダほど大きく豊かな祝福を受ける者はいませんでした。それぞれ肯定的な祝福を受けました。13節でのゼブルンの祝福は彼の家族の約束の地での将来の地位に基づいています。

13.ゼブルンは海辺に、船の着く岸辺に住む。その境はシドンにまで至る。14.イッサカルは、たくましいろば、二つの鞍袋の間に身を伏せる。15.彼は、休息の地が快く、その地が美しいのを見る。しかし、肩は重荷を負ってたわみ、苦役を強いられる奴隷となる。

イッサカルの場合、400年の強制労働の奴隷生活の後、約束の地で力の限りを尽くして神の休息を求めたので、たくましいロバであることは良いことでした。そして16節でダンを見ます。

16.ダンは自分の民を、イスラエルの部族の一つとしてさばく。17.ダンは道の傍らの蛇となれ。通りのわきのまむしとなれ。彼が馬のかかとをかむと、乗り手はうしろに落ちる。18.主よ、私はあなたの救いを待ち望む。

この意味は完全には明らかになっていませんが、18 節に基づけば、彼の将来を神に寄り頼むと言う意味を伝える意図が明らかです。神が彼と私たちの救いを与えるお方なのです。19-21節はガド、アシェル、とナフタリを祝福しています。19.ガドについては、襲う者が襲うが、彼は、その者たちのかかとを襲う。20.アシェルには、その食物が豊かになり、彼は王のごちそうを作り出す。21.ナフタリは放たれた雌鹿。美しい子鹿を産む。これらの祝福は戦場での体力、労働の実りある成果、自慢できる子どもたちを示しています。ユダを除けば、家族を救済したこの最愛の息子ヨセフにヤコブは彼の最高の祝福を残していました。22節を見てください。22.ヨセフは実を結ぶ若枝、泉のほとりの、実を結ぶ若枝。その枝は垣を越える。

そして、もう3回、祝福の言葉と想いを強調した後、26節で締めくくります。26.おまえの父の祝福は、私の親たちの祝福にまさり、永遠の丘の極みにまで及ぶ。これらがヨセフの頭の上に、兄弟たちの中から選り抜かれた者の頭の頂にあるように。ヤコブは祝福の上に祝福をヨセフの上に山と積みます。実際、ヨセフの兄弟たちに先に与えられた祝福の想いは多くの場合ヨセフにも与えられました。この家族の生存に関しての全てはヨセフの神への服従にかかっていた。そして、彼は受ける祝福の全てに相応しいと証明しました。これに関しては、最後にもう一度戻ります。次の2節、27-28節に進みましょう。27.ベニヤミンは、かみ裂く狼。朝には獲物を食らい、夕には略奪したものを分ける。28.これらはすべてイスラエルの部族で、十二であった。これは、彼らの父が彼らに語ったことである。彼らを祝福したとき、それぞれにふさわしい祝福を与えたのであった。

最後の祝福は末っ子ベニヤミンに与えられました。短文ですが、寛大な祝福です。将来の獲物に恵まれる狩猟と戦での勝利の祝福が示されました。

今日もまた長い聖書箇所でしたね。息子たちが、それぞれにふさわしい祝福を与えたのであった。と言われたこの最後の一節を基にした一つの重要な点を強調して終えたいと思います。これは神の祝福の鍵です。神は誰を祝福するかを選ばれます。その祝福に気づき受け取るのは従順によります。私たちはヨセフ以外は誰一人として肯定的にな視点から描かれていないことが明らかに見て取れました。そして、邪悪な罪によって祝福を逃した3人が特定されています。神の民、キリストの信仰者であったとしても、神の啓示された御心に従順でないために神の祝福を逃してしまっていないかどうかを考えてしまいます。これは聖書の申命記 7章 12-13節などで明確な真理です。申命記 7章 12~13節 12.もしあなたがたがこれらの定めを聞き、これを守り行なうなら、あなたの神、主は、あなたの父祖たちに誓われた恵みの契約をあなたのために守り、 13.あなたを愛し、あなたを祝福し、あなたを増やす。主があなたに与えるとあなたの父祖たちに誓われた地で、あなたの胎の実も、穀物、新しいぶどう酒、油などの大地の実りも、またあなたの群れの中の子牛、群れの中の子羊も祝福される。

神は私たちに神の律法の規則を遥かに超える書、聖書を与えられました。それは神の想いと心を私たちに啓示します。この書に啓示されている神の御言葉に従い、御言葉に啓示された御心に私たちの生活を一致させる事によって神の祝福を経験するのです。必ずしもこの世で見ることが出来る物質的な物ではなく、私たちが本当に属する私たちの主イエス・キリストの御国の祝福です。祈りましょう。

Genesis 48-49:28 Final Blessings

Genesis 48 where we pick up today, is the beginning of the end of Jacob's story, Joseph's story and the book of Genesis itself. We will finish the book of Genesis in two more weeks and finish off on the 5th Sunday of May with a wrap up sermon refreshing our memories over all the primary themes in the book of Genesis. In every death we see in Genesis with Abraham's family, the concept of blessing is extremely important, and we know it is a major theme of the book. God's blessing of people shows us how God interacts with his creatures, and works in his providence to provide promised salvation for mankind through Abraham's family. Here in Genesis 48 through 49:28, we see this history of family blessing passed on by Jacob to the next generation, these sons of Israel. There is a lot of detail given us in the account of these blessings, so there must be a point in them that God wants to make for us. **And after we examine this series of blessings, what we will discover is the lasting truth that only in obedience will we experience God's blessing. *Let's pray*** and then look at the blessing these sons.

Let's begin reading at Genesis 48:1. **After this, Joseph was told, "Behold, your father is ill." So he took with him his two sons, Manasseh and Ephraim.² And it was told to Jacob, "Your son Joseph has come to you." Then Israel summoned his strength and sat up in bed.³ And Jacob said to Joseph, "God Almighty appeared to me at Luz in the land of Canaan and blessed me,⁴ and said to me, 'Behold, I will make you fruitful and multiply you, and I will make of you a company of peoples and will give this land to your offspring after you for an everlasting possession.'⁵ And now your two sons, who were born to you in the land of Egypt before I came to you in Egypt, are mine; Ephraim and Manasseh shall be mine, as Reuben and Simeon are.** Jacob is on his deathbed and what follows over the course of these two chapters is his children appearing before him and receiving his final blessing on each of them. The first ones to receive these blessings are Joseph's two sons, Ephraim and Manasseh. Basically, Jacob tells Joseph that his two sons are now counted as his own sons and will receive the blessings of sons. This prophetically sets the stage for all of the tribes of Israel. In addition to Ephraim and Manasseh, the other brothers who make up the tribes of Israel are Reuben, Simeon, Levi, Judah, Zebulun, Issachar, Dan, Gad, Asher, Naphtali and Benjamin. With Joseph being represented by two tribes, Manasseh and Ephraim, there are 13 total tribes of Israel.

Notice that he grounds his blessings of his sons in the Covenant blessing that he has received from God. This demonstrates that he knows the source of all true blessing that he is passing to his sons. But it also points us to another aspect of these blessings. They are prophetic in nature, and Jacob seems to understand that these prophetic blessings will come to pass because of God's Providence. As we drop down to verse 13 we see the first two prophetic blessings he speaks over Joseph's sons. But right away we see the unexpected nature of God's blessing. **And Joseph took them both, Ephraim in his right hand toward Israel's left hand, and Manasseh in his left hand toward Israel's right hand, and brought them near him.¹⁴ And Israel stretched out his right hand and laid it on the head of Ephraim, who was the younger, and his left hand on the head of Manasseh, crossing his hands (for Manasseh was the firstborn). // ¹⁵ And he blessed Joseph and said, "The God before whom my fathers Abraham and Isaac walked, the God who has been my shepherd all my life long to this day,¹⁶ the angel who has redeemed me from all evil, bless the boys; and in them let my name be carried on, and the name of my fathers Abraham and Isaac; and let them grow into a multitude^[c] in the midst of the earth."** Notice two things about how Jacob frames this first blessing. By blessings Manasseh and Ephraim, he is blessing Joseph their father. That's why it says, **he blessed Joseph** in verse 15, but then verse 16, **bless the boys**. Secondly, the right hand is considered the hand that has the

greater sense of blessing and should be on the firstborn son, but it is not. It is on Ephraim, the second born. That's when verse 17 continues, ¹⁷ When Joseph saw that his father laid his right hand on the head of Ephraim, it displeased him, and he took his father's hand to move it from Ephraim's head to Manasseh's head.¹⁸ And Joseph said to his father, "Not this way, my father; since this one is the firstborn, put your right hand on his head." // ¹⁹ But his father refused and said, "I know, my son, I know. He also shall become a people, and he also shall be great. Nevertheless, his younger brother shall be greater than he, and his offspring shall become a multitude^(d) of nations."²⁰ So he blessed them that day, saying, "By you Israel will pronounce blessings, saying, 'God make you as Ephraim and as Manasseh.'" Thus he put Ephraim before Manasseh.

Most of these final words of Jacob are spoken to Joseph, who has always had a special place in Jacob's heart. Before his other brothers come into conversation, he wants to give a final gift to Joseph's descendants. Verse 21 continues, ²¹ Then Israel said to Joseph, "Behold, I am about to die, but God will be with you and will bring you again to the land of your fathers."²² Moreover, I have given to you rather than to your brothers one mountain slope that I took from the hand of the Amorites with my sword and with my bow." Verse 21-22 show a different picture of Jacob. He has never been pictured as one who used force in moving his family from place to place, but now we find out he could be a man of war as well as a man of peace. As we saw last week, he trusted that his family would not remain in Egypt and he wanted Joseph's family to have that particular piece of land.

At this point, Genesis 49 begins and the rest of his sons are called into Jacob's presence. Beginning in verse 3, we read their blessings, in some cases curses from their father.

³ "Reuben, you are my firstborn, my might, and the firstfruits of my strength, preeminent in dignity and preeminent in power.⁴ Unstable as water, you shall not have preeminence, because you went up to your father's bed; then you defiled it—he went up to my couch!

Jacob is direct and to the point. You have lost the right of the firstborn. You were preeminent, you were the top in dignity and in power, but you will no longer be at the top – have preeminence. Remember in [Genesis 35:22](#) the sad words we read there... ²² While Israel lived in that land, Reuben went and lay with Bilhah his father's concubine. And Israel heard of it. The next two sons also receive a non-blessing, blessing. Look at verse

⁵. "Simeon and Levi are brothers; weapons of violence are their swords. ⁶ Let my soul come not into their council; O my glory, be not joined to their company. For in their anger they killed men, and in their willfulness they hamstrung oxen. ⁷ Cursed be their anger, for it is fierce, and their wrath, for it is cruel! I will divide them in Jacob and scatter them in Israel.

Simeon and Levi are grouped together because they led the bloodshed against the city of Shechem in Genesis 34. This prophecy of dividing them is fulfilled after the exodus from Egypt and conquest of the promised land by the fact the Tribe of Levi receives no land allotment because they are given the responsibility of the priesthood. As for Simeon, that tribe basically disappears after the conquest of the promised land. They likely failed to take the land they were supposed to and were swallowed up by the people of the land or other Israelite tribes.

By putting these three brothers and future tribes of Israel up front and eliminating these older brothers, Judah rises to the top of the brothers and receives the right of the firstborn. ...Which we see in verse 8. "Judah, your brothers shall praise you; your hand shall be on the neck of your enemies; your father's sons shall bow down before you. ⁹ Judah is a lion's cub from the prey, my son, you have gone up. He stooped down; he crouched as a lion and as a lioness; who dares rouse him? // ¹⁰ The scepter shall not depart from Judah, nor the ruler's staff from between his feet, until tribute comes to him; and to him shall be the obedience of the peoples.¹¹ Binding his foal to the vine and his donkey's colt to the choice

vine, he has washed his garments in wine and his vesture in the blood of grapes. ¹² His eyes are darker than wine, and his teeth whiter than milk. Mentioning the sons bowing down before him recalled the dreams Joseph had. The blessings promised and fulfilled to Joseph in one generation are now passed on long term to Judah. The kingdom of Israel would be ruled by the line of Judah, but more importantly, the true king above all kings would come from the line of Judah. Notice that not just a people, Israel would obey him and be ruled by him, but the peoples plural. The rule of the ultimate king that Judah's line will produce will be worldwide, not limited to one nation or people. Wine is the symbol of prosperity and blessing, and the prosperity under that king will be so extensive that even the best wine producing vines will just be used to hitch donkeys to. This wine that is so treasured now will be as commonplace as water used to wash clothes under the coming worldwide king, who we know is Jesus.

This prophecy of Judah points us to a wonderful truth that we all too often forget. That the kingdom we serve is not the one we live in, in this world. Judah will produce a line of kings over an earthly kingdom of Israel; that is part of what verse 10 is alluding to. But the fact is, there is no human king ruling over Israel from Judah's line today, so this prophecy must refer to a spiritual king, Jesus Christ. He reigns in Heaven. Jesus made clear that he is a king, but of a much bigger kingdom in [John 18:36](#) Jesus answered, "My kingdom is not of this world. If my kingdom were of this world, my servants would have been fighting, that I might not be delivered over to the Jews. But my kingdom is not from the world." Now, to be sure there is a future aspect to this kingdom that will not be fulfilled until Christ's return. That is what we see in the words about wine being so abundant. But Jesus also points to the truth and mystery that the kingdom is not just future, but also here and now. In [Luke 17:20-21](#) says, ²⁰ Being asked by the Pharisees when the kingdom of God would come, he answered them, "The kingdom of God is not coming in ways that can be observed, ²¹ nor will they say, 'Look, here it is!' or 'There!' for behold, [the kingdom of God is in the midst of you.](#)" As God's people, we live in the current reality of being part of the spiritual kingdom of God here on earth. But so many times, we get so wrapped up in trying to accumulate prosperity and blessing in the kingdoms and nations of this world, that we lose sight of this spiritual kingdom that we really belong to. Do our everyday lives reflect this tension of living in this physical world, but belonging to a spiritual kingdom? Or do we give ourselves over completely to the same values, the same motivations, the same goals and methods as the world would have us do. In order to live as a citizen of God's kingdom, we must remind ourselves regularly that this world is not our home and our future with Christ our Savior is our true reality.

None of the other blessing are as extensive as what Judah gets, but they do all receive positive blessings. Zebulun's blessing is based on his family's future position in the promised land in verse 13. ¹³ "Zebulun shall dwell at the shore of the sea; he shall become a haven for ships, and his border shall be at Sidon. ¹⁴ "Issachar is a strong donkey, crouching between the sheepfolds. ¹⁵ He saw that a resting place was good, and that the land was pleasant, so he bowed his shoulder to bear, and became a servant at forced labor. Being a donkey in Issachar's case is a good thing, as he puts all his strength into seeking God's rest in the promised land... after 400 years of slavery – forced labor. Then we see Dan in verse 16. ¹⁶ "Dan shall judge his people as one of the tribes of Israel. Dan shall be a serpent in the way, a viper by the path, that bites the horse's heels so that his rider falls backward. ¹⁸ I wait for your salvation, O Lord. The meaning of this blessing is not entirely clear, but based on verse 18, it is clearly intended to convey a meaning that relies on God for his future. God is the one who will be his and our salvation. [Verses 19-21](#) goes on to bless Gad, Asher and Naphtali. ¹⁹ "Raiders shall raid Gad, but he shall raid at their heels. ²⁰ "Asher's food shall be

rich, and he shall yield royal delicacies. ²¹ “Naphtali is a doe let loose that bears beautiful fawns. These blessings convey physical strength in battle, fruitful outcomes of labor and children that make one proud.

Besides Judah, Jacob reserves his greatest blessing for Joseph, who has provided salvation for the family that he is now able to bless because of this beloved son. Look at verse 22.

²² “Joseph is a fruitful bough, a fruitful bough by a spring; his branches run over the wall. Then after emphasizing the word and idea of blessing three more times, he closes in verse 26, ²⁶ The blessings of your father are mighty beyond the blessings of my parents, up to the bounties of the everlasting hills. May they be on the head of Joseph, and on the brow of him who was set apart from his brothers. Jacob piles blessing upon blessing on Joseph. In fact all the ideas contained in the previous blessings to his brothers are in many ways repeated to Joseph. Everything about the survival of this family has hinged on the obedience of Joseph to God, and this has proved him worthy of all the blessings he receives. I want to come back to this idea at the end, but let’s move on to the last two verses ²⁷⁻²⁸.

²⁷ “Benjamin is a ravenous wolf, in the morning devouring the prey and at evening dividing the spoil.” ²⁸ All these are the twelve tribes of Israel. This is what their father said to them as he blessed them, blessing each with the blessing suitable to him. The last blessing given out is to the youngest, Benjamin, who receives a short but generous blessing of success in his future by picturing a successful hunt and successful battle.

I know this is a long passage again. But I want to close by making one primary point based on this last verse that says each of these sons received the “**blessing suitable to him.**” This is a key to blessing. God chooses who he will bless, but recognizing and receiving that blessing is based on obedience. We have clearly seen signs that none of these sons other than Joseph is painted in a positive light, but three are singled out for particularly evil sins that cause them to lose out on their blessing. I do wonder if even as God’s people, followers of Christ, we miss out on God’s blessing, because we fail to be obedient to God’s revealed will. This is a truth that is clear in Scriptures like [Deuteronomy 7:12-13](#) ¹² “And because you listen to these rules and keep and do them, the Lord your God will keep with you the covenant and the steadfast love that he swore to your fathers. ¹³ He will love you, bless you, and multiply you. He will also bless the fruit of your womb and the fruit of your ground, your grain and your wine and your oil, the increase of your herds and the young of your flock, in the land that he swore to your fathers to give you. God gave us a book, the Bible that goes way beyond the rules found in the law of God. It reveals to us the mind and heart of God, and as we obey God’s Word and align our lives to his revealed will within this Word, then we experience the blessing of God. It is not blessing that is always seen by this world in material things but blessing in the world that we truly belong to, the kingdom of our Lord Jesus Christ. Let’s pray.